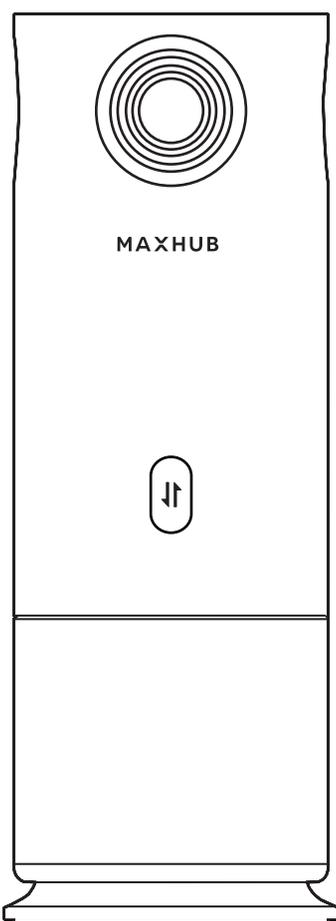


MAXHUB



360度全方位 WEBカメラ

ユーザーズマニュアル

USER'S MANUAL

目次

1. 使用上の注意／免責	3
2. 付属品	4
3. 各部の名称および機能	5
4. セットアップ	6
5. PanoCam Studio について	7
6. PanoCam Studio の使用方法	8
本機を PC に接続する	8
Web 会議でフェーストラッキング（顔認識）を有効にする	9
PanoCam Studio の操作方法	10
① マニュアルボックス選択	10
② オートディテクト（Auto detect） / オートトラッキング（Auto tracking）	11
③ イメージミラー（Image mirror）	11
④ カメラの角度調整	12
トラッキングモード	13
① コンポーズモード	13
② マニュアルモード	14
③ ボディフィットモード	15
④ グリッドモード	16
⑤ プレゼンテーションモード	17
⑥ スピーカーモード	18
⑦ スプリットモード	19
7. スタンドアロンモードについて	20

1. 使用上の注意／免責

使用上の注意

- 動作保証環境は、温度0°C～40°C、湿度0%～90%です。
極端に湿気の多いところや水滴がかかる場所で使用しないでください。
- 低温になる場所には放置しないでください。機器の変形や故障の原因となります。
- 直射日光・熱気は避けてください。
高温になる場所に放置すると、機器が変形する場合や、故障の原因となることがあります。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなどでは、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。故障の原因となるため、結露がなくなるまで電源を入れないでください(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください)。
- 本製品は、小さな部品を含んでおります。小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 本書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

免責

誤った使い方でのご使用は保証範囲外になりますので、ご注意ください。

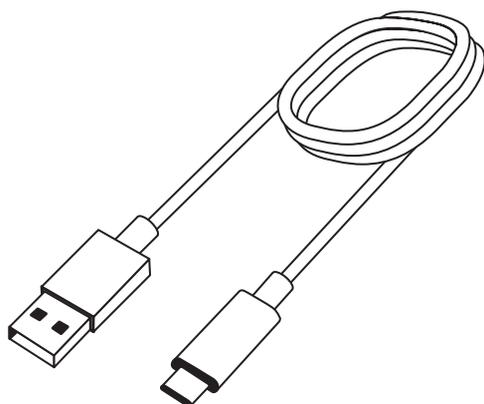
- 本ユーザーマニュアルに記載する内容以外のご使用
- ご自身での修理
- 規定環境以外でのご使用
- 自然災害での損害
- 開封ラベルを破損
- 保証書を紛失

また、以下の原因で発生した物損、人身傷害も責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本ユーザーマニュアルに記載する内容以外のご使用
- ご自身での修理、改造
- 規定環境以外でのご使用
- 自然災害など不可抗力の発生
- その他誤った使い方でのご使用

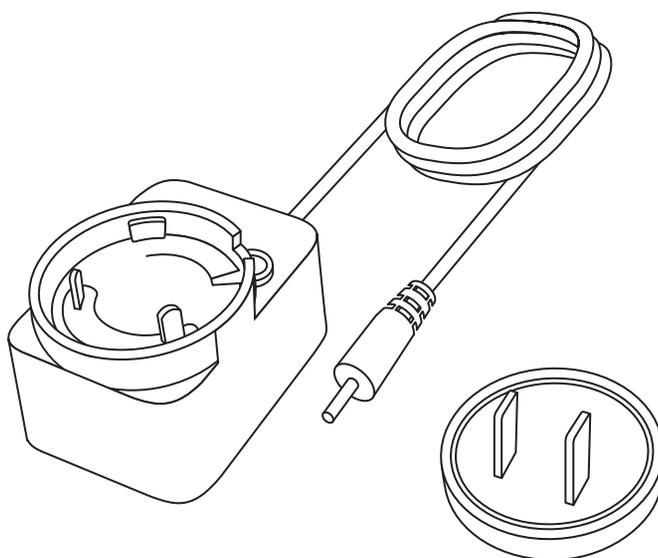
2. 付属品

USB ケーブル ×1



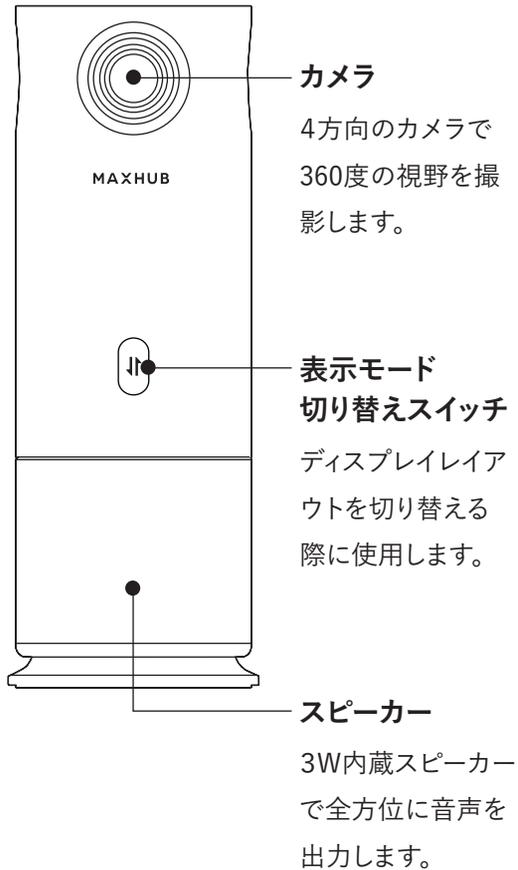
電源アダプター ×1

アタッチメントプラグ ×1

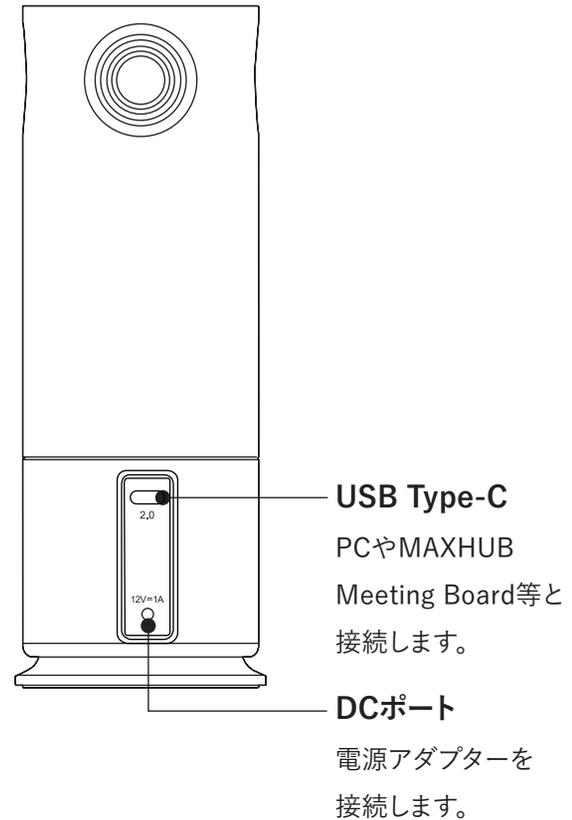


3. 各部の名称および機能

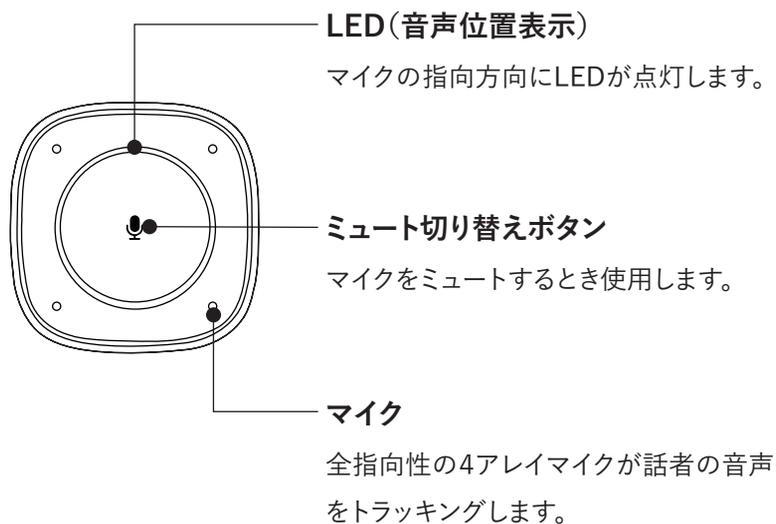
前面



背面

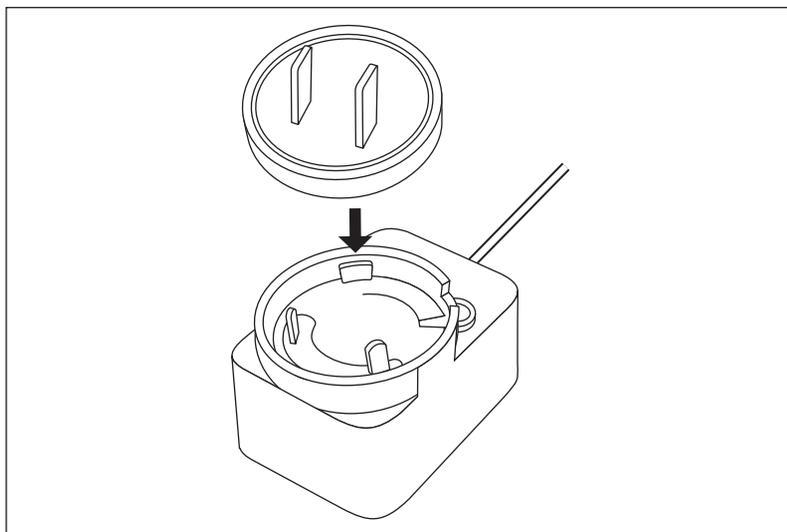


上面

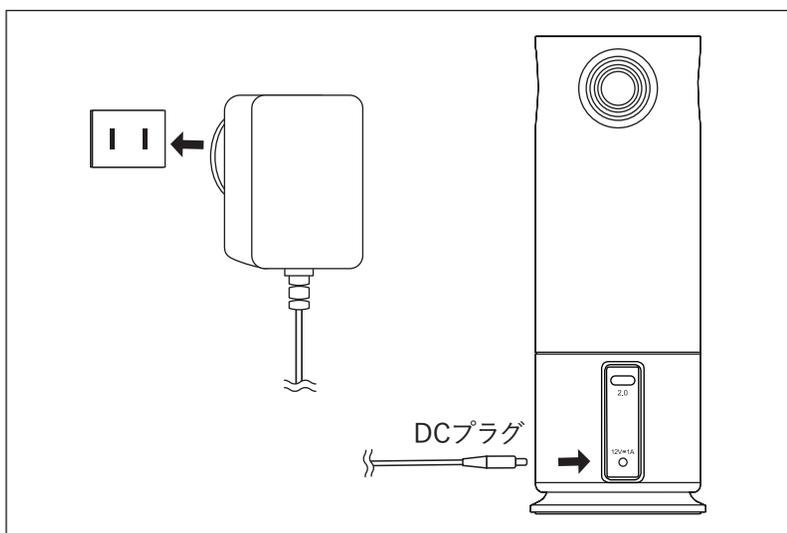


4. セットアップ

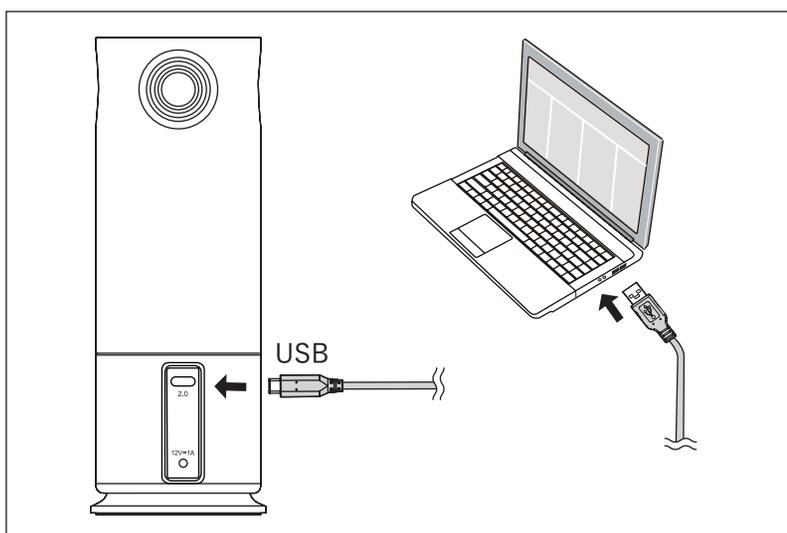
- ① アタッチメントプラグを電源アダプターに取り付けます。



- ② 電源アダプターのDCプラグを本機のDCポートに接続します。電源アダプターをコンセントに差し込むと、本機が起動します。



- ③ 本機のUSB Type-CポートにUSBケーブルを差し込み、PCと接続します。

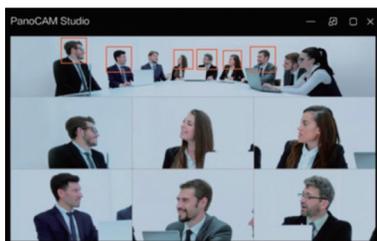


5. PanoCam Studio について

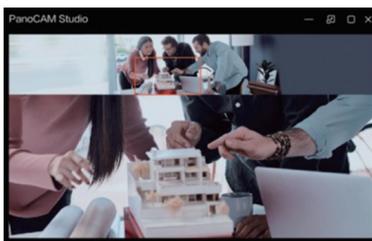
PCやMAXHUB Meeting Boardに、専用ソフトウェア“PanoCam Studio”をインストールして使用することにより、最適なディスプレイレイアウトの選択や、人物のオートトラッキングなど本機の機能を最大限活かすことができます。

PanoCam Studioを使用することで、下記の7つのディスプレイモードが選択可能となります。

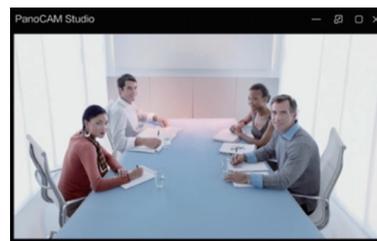
1 コンポーズ モード



2 マニュアル モード



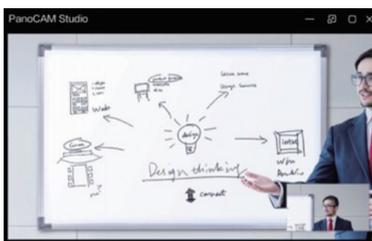
3 ボディフィット モード



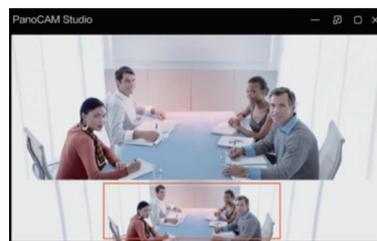
4 グリッド モード



5 プレゼンテーション モード



6 スピーカー モード



7 スプリット モード



ソフトウェアのインストール

USBケーブルを使用して、本機をPCに接続するとデスクトップにCD-ROMのアイコンがあらわれます。アイコンを開き、“PanoCam Studio”のインストールファイルを実行してください。



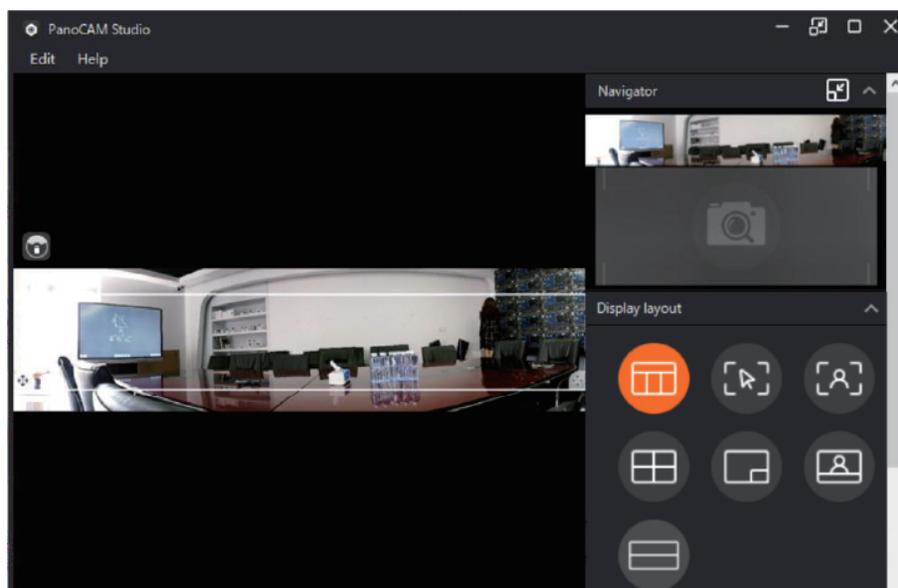
最新のソフトウェアや本機のファームウェアは下記リンクからも入手可能です。

<https://studio.cupola360.com/cvte/>

6. PanoCam Studio の使用方法

1. 本機を PC に接続する

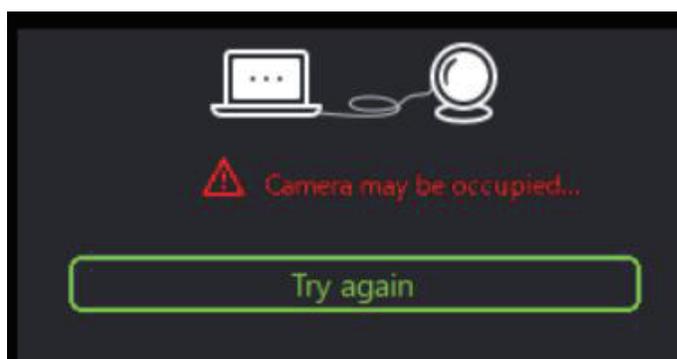
本機をPCやMAXHUB Meeting BoardにUSBケーブルを使用して接続します。



PanoCam Studioで設定したディスプレイモードを使用してWeb会議をおこなう場合はPanoCam Studioをバックグラウンドで動作させておく必要があります。PanoCam Studioの設定は保存できませんので、起動時に都度設定をする必要があります。

PanoCam Studioを起動させると、自動的に本機を検出します。

※本機が検出されない場合は“Try Again”ボタンを押してください。



本機が検出されない場合は他のアプリケーションで本機を使用していないかなど接続状況を再確認ください。

2. Web 会議でフェーストラッキング（顔認識）を有効にする

Web会議のアプリケーションなどでは、仮想デバイス“Studio Camera”を選択ください。



自動で顔認識が開始され、PanoCam Studioは最小化します。

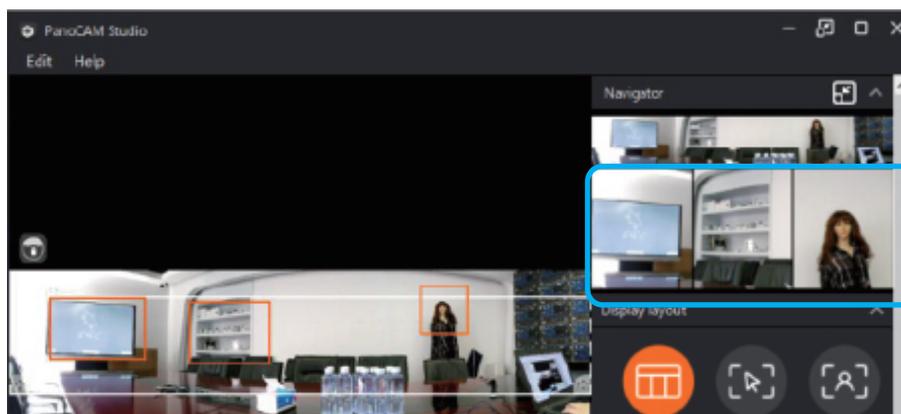
※PanoCam StudioをWindows10やMac OSにインストールする際には、Studio Cameraは自動的にインストールされます。

3. PanoCam Studio の操作方法

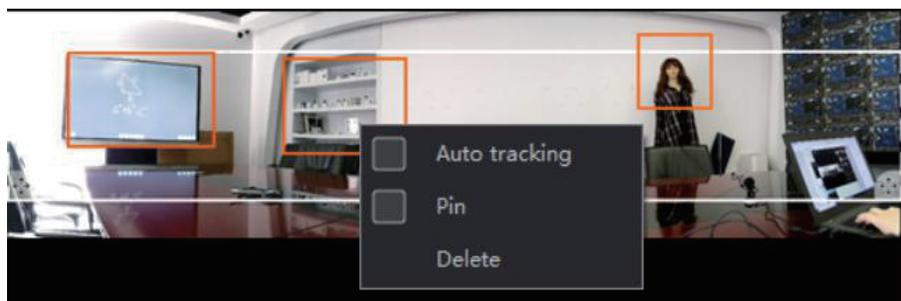
1 マニュアルボックス選択

PanoCam Studioは、自由にエリアを選択しクローズアップすることができます。[a](#)

パノラマ画像表示内の任意のエリアをドラッグすることで、自由にクローズアップ範囲を設定できます。右クリックして“Clean All”を選択すると、すべての選択をキャンセルできます。



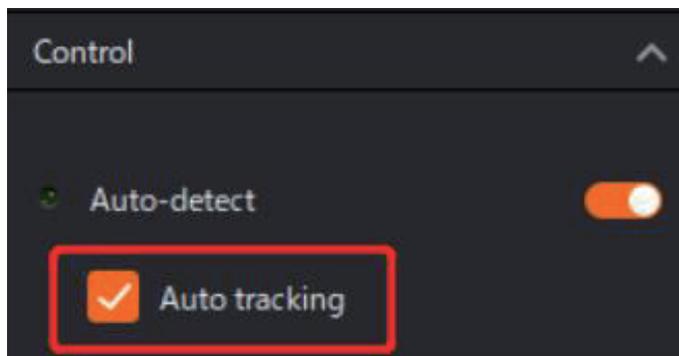
マニュアルボックス選択において、マウскарソルを選択エリアの上に移動させ、右クリックをするとドロップダウンメニューがあらわれ、下記3つの選択肢を選ぶことができます。



- **Auto tracking(オートトラッキングモード)**：選択エリア内の人物を自動でトラッキングします。
本モードを設定するとフレームのボックスの枠は青色になります。
- **Pin(ピンモード)**：選択エリアが、現在の位置のまま固定されます。ピンのタグがボックスの中にあられます。
- **Delete(削除)**：エリア選択を削除します。

② オートディテクト (Auto detect) / オートトラッキング (Auto tracking)

PanoCam Studioを起動させると、デフォルトでオートディテクト(Auto detect)が有効になります。“Auto tracking”にチェックを入れると、オートトラッキングモードが有効になります。



※オートディテクト(Auto detect)

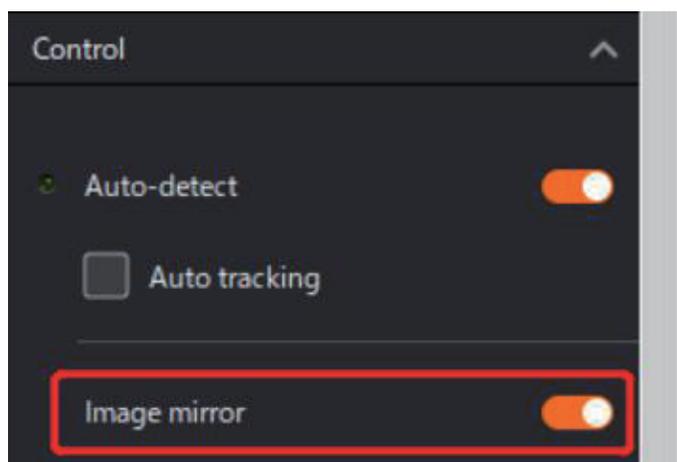
人物を自動検出する機能です。

※オートトラッキング(Auto tracking)

自動検出された人物が動いても自動的に追尾してピントを合わせ続ける機能です。

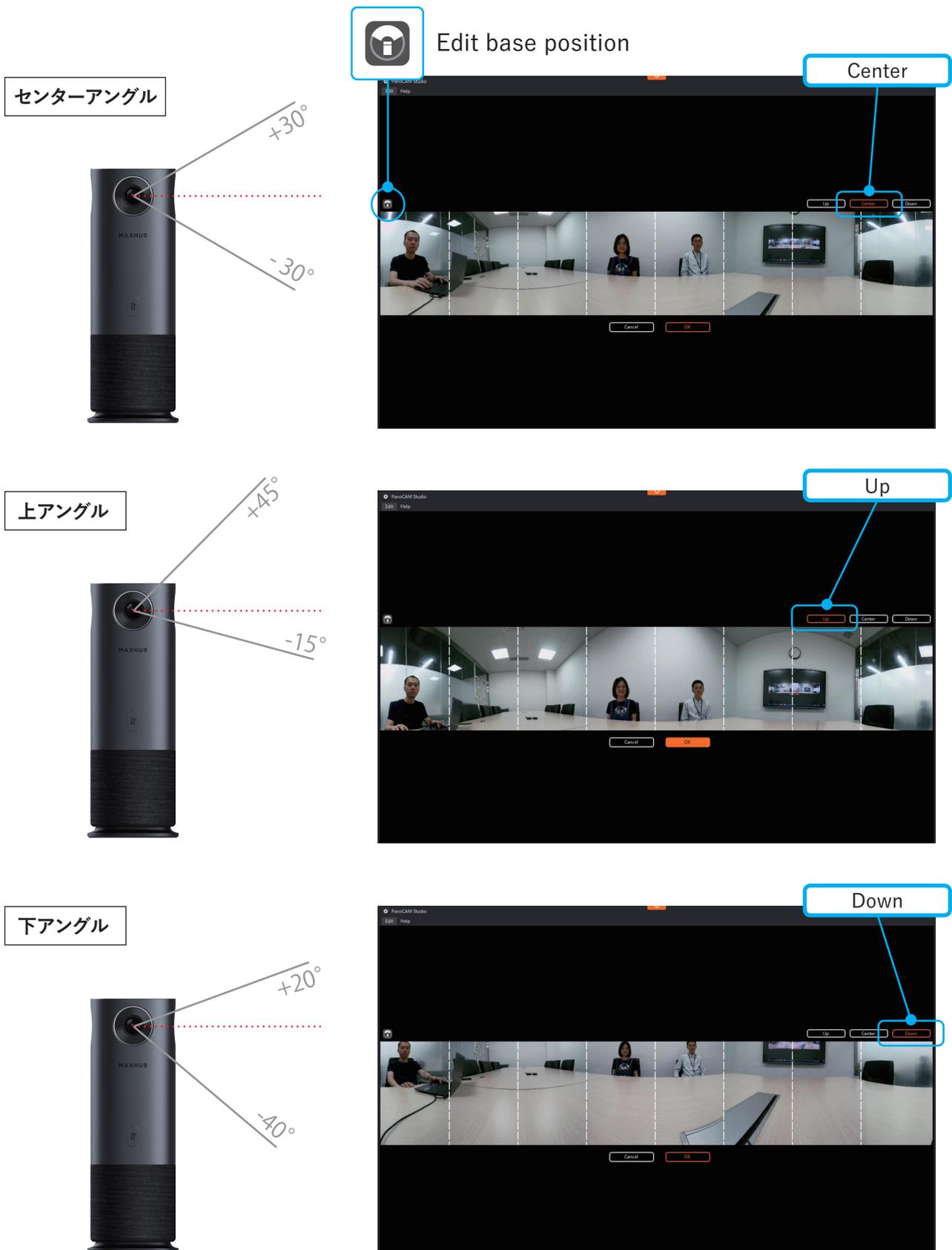
③ イメージミラー (Image mirror)

“Image mirror”を有効にすると、画像が左右反転します。



4 カメラの角度調整

Edit base position機能を使用して本機の視野角を調整します。

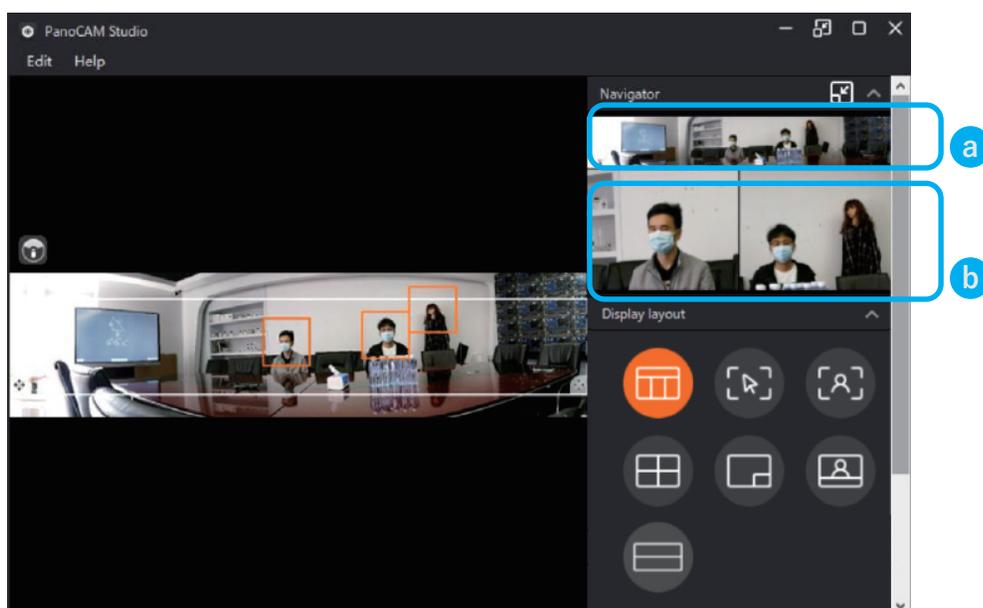


4. トラッキングモード

1 コンポーズモード

チームミーティングのような8人程度の会議に最適です。

画面上部にパノラマ画面を表示させたまま、**a** 自動検出された人物やマニュアルボックスなど最大8つのクローズアップ範囲が表示されます。**b**



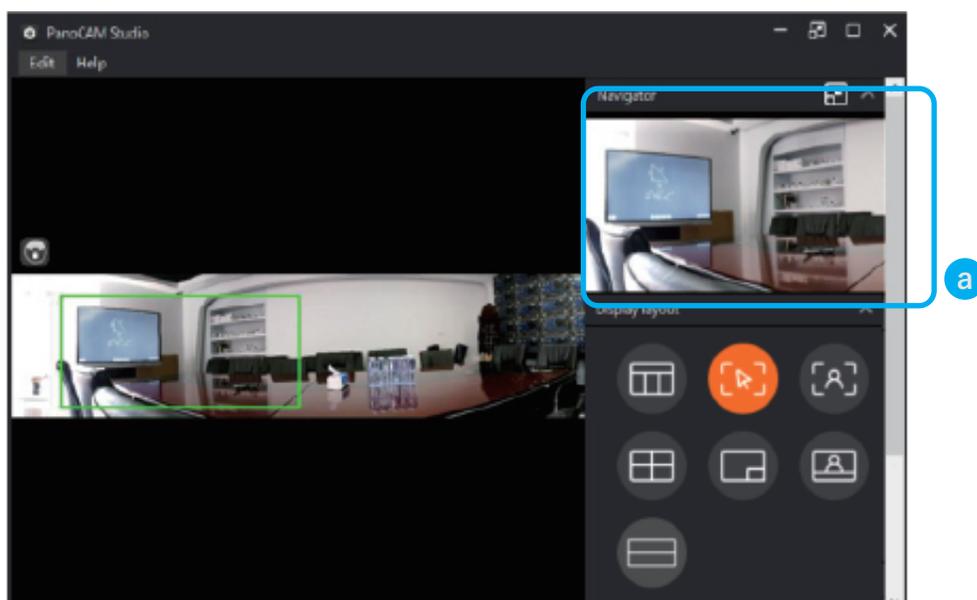
人物が検出されない場合や、マニュアルボックス選択がされていない場合は、パノラマ画面のみの表示となります。

人物同士やマニュアルボックスのクローズアップ範囲が近接している場合は、一つに統合されます。

2 マニュアルモード

映像を特定のエリアに固定したい場合に最適です。

マニュアルボックス選択された範囲がクローズアップされます。^a

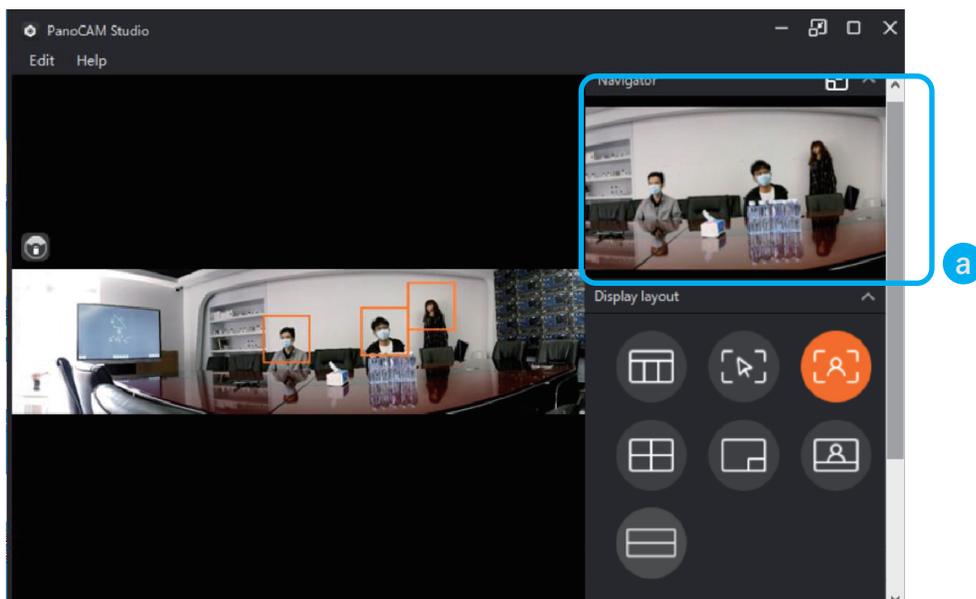


ドラッグすることで、クローズアップ範囲の位置やサイズの調整が可能です。
マニュアルモードではオートディテクトは無効になります。

3 ボディフィットモード

部屋の中のすべての人物をフォーカスしたい場合に最適です。

カメラに映るすべての人物が、一つの画面にクローズアップされます。a

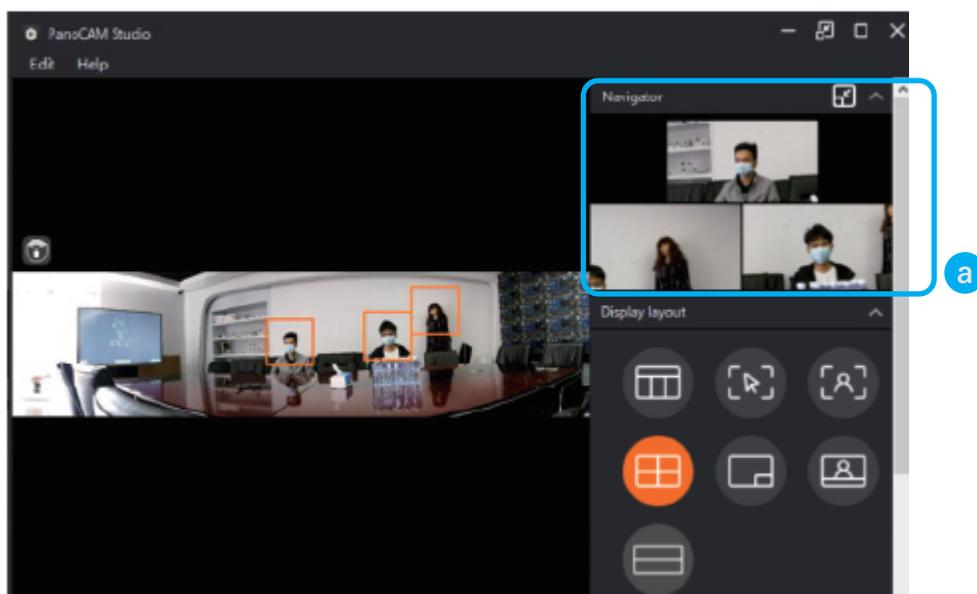


人物が検出されない場合や、マニュアルボックス選択がされていない場合は、パノラマ画面のみの表示となります。

4 グリッドモード

グループディスカッションのような1～4人の会議に最適です。

自動検出された人物や、マニュアルボックス選択された範囲が、それぞれクローズアップ画面として表示されます。 a

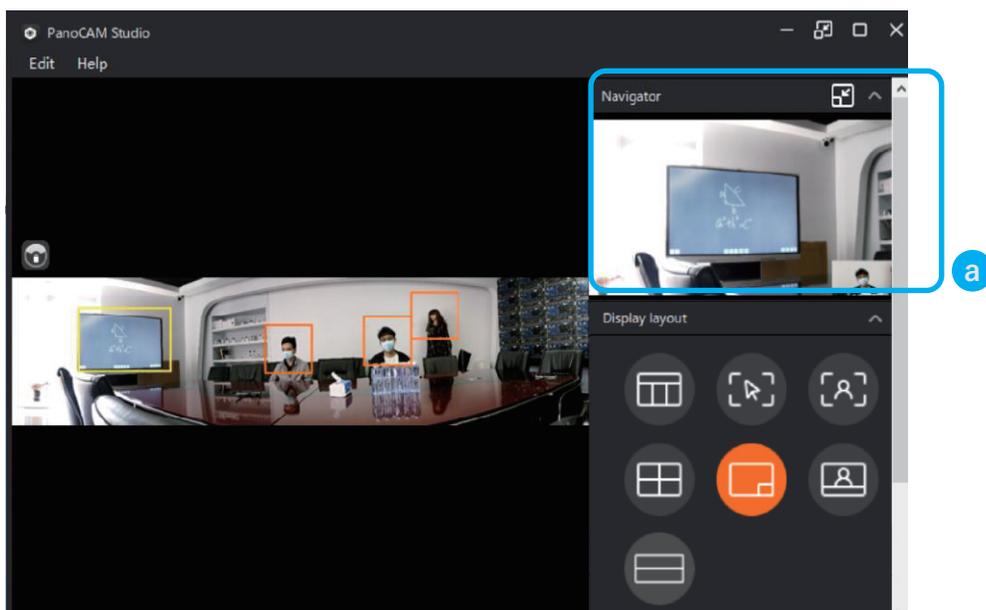


人物が認識されない場合や、マニュアルボックス選択がされていない場合は、パノラマ画面のみの表示となります。人物同士やマニュアルボックスのクローズアップ範囲が近接している場合でも、統合されません。

5 プレゼンテーションモード

ホワイトボードなどを使ってプレゼンテーションをする場面などに最適です。

自動検出された人物が右下に表示されるとともに、手動で選択された範囲が上部に表示されます。[a](#)

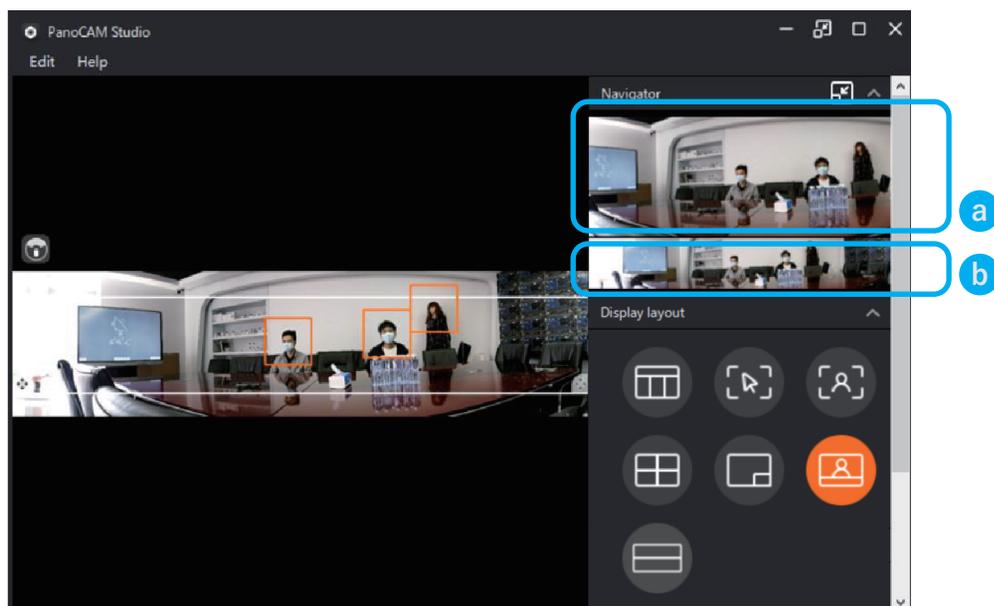


人物が認識されない場合や、マニュアルボックス選択がされていない場合は、手動で選択した範囲のみが表示されます。

6 スピーカーモード

参加者のフォーカス画面だけでなく部屋全体を映したい場合に最適です。

自動検出された人物を上に、**a** パノラマ画面が下に表示されます。**b**



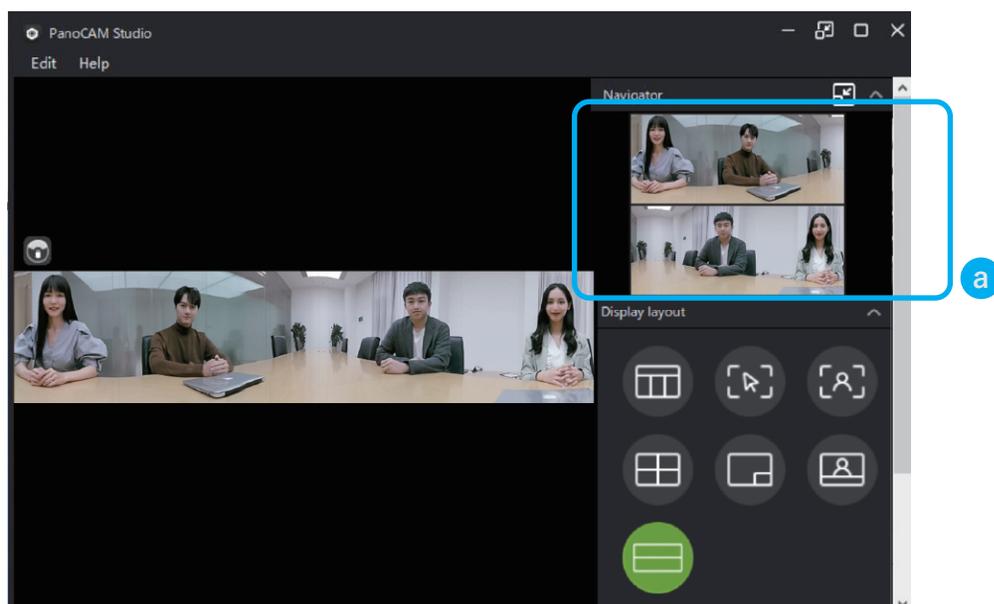
人物が認識されない場合や、マニュアルボックス選択がされていない場合は、パノラマ画面のみの表示となります。

パノラマ画面は、白い枠をドラッグすることで位置を調節することができます。

7 スプリットモード

参加者全員を移したい場合に最適です。

360度の映像を180度ずつ上下に分割して表示されます。^a



ディスカッションモードではオートディテクトは無効になります。

7. スタンドアロンモードについて

本機の電源を入れ、表示モード切り替えボタンを押すだけで、7つの動画レイアウトが選択可能となります。 ※専用ソフトウェアのインストールは不要です。

7つのレイアウトパターン

1 ディスカッションモード(AI対応)

2方向からの音声同時トラッキングに対応。直近2名の声を認識します。



2 ビームフォーミングモード(AI対応)

オートトラッキング技術で、音源に向かって視野を180度移動させます。



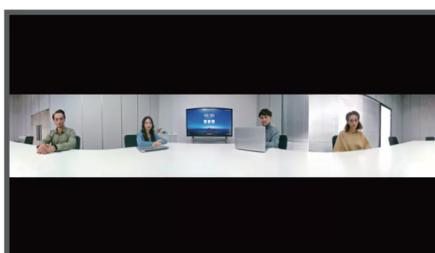
4 クオードビューモード



6 コンポーズモード



3 パノラマモード



5 ポートレートモード



7 スプリットモード



ボタンを押して動画レイアウトを変更